

工場のカイゼン活動に組み込む サイバーセキュリティ対策の進め方

日時 2026年6月29日(月) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム / オンライン(ZOOM)

講師 佐々木 弘志 氏 名古屋工業大学 産学官金連携機構
ものづくりDX研究所 客員准教授 受講料 33,000円(資料含む、消費税込)

受講効果

- [1] 工場特有のサイバーリスクを理解し、現場目線での対策の重要性が把握できます。
- [2] 日常のカイゼン活動に組み込み、セキュリティを“自分ごと化”する進め方が学べます。
- [3] リスク評価や優先順位付けなど、効果的な対策の具体手法を習得できます。
- [4] 組織・運用・技術の観点から、持続的に取り組むための体制づくりにつながります。

プログラム

1. サイバーセキュリティの本質とは？

- 1-1 サイバー空間の安心・安全
- 1-2 説明責任と実効性
- 1-3 セキュリティとセーフティとの違い
- 1-4 情報セキュリティとOTセキュリティの違い

2. 工場セキュリティ対策の重要性

- 2-1 工場セキュリティが重要な3つの理由
- 2-2 デジタル化進展によるセキュリティ脅威
- 2-3 工場セキュリティ事故事例
- 2-4 工場セキュリティに関連する規制・ガイドライン

3. 工場セキュリティ対策に必要な3要素

- 3-1 組織・人
- 3-2 運用
- 3-3 技術

4. 工場セキュリティ対策のリスク

- 4-1 情報システムとのリスクの違い
- 4-2 工場特有のリスク
- 4-3 セキュリティリスクからビジネスリスクの連鎖の考え方
- 4-4 レジリエンスの考え方

5. 工場セキュリティ対策が進まない理由と対策

- 5-1 ステークホルダー間の利害
- 5-2 予算・人の問題
- 5-3 全社の取組とするための進め方の例

6. ガイドラインを活用した対策の進め方

- 6-1 ガイドライン概要
- 6-2 チェックリストの活用
- 6-3 簡易リスク評価
- 6-4 優先順位の付け方
- 6-5 予防と事故対応

7. 工場リスク分析ワークショップ

- 7-1 ワーク説明
- 7-2 実施
- 7-3 チーム発表・講評

8. まとめ・質疑応答

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.267105

